

## 【 特徴 】

- デジタルシグナルプロセッシング(DSP)  
採用ラックマウントサイズの MCA
- 32K チャンネル;コンバージョンゲイン/スペルラムメモリの 2 つのグループ
- 測定モードとして PHA(波高分析)、MCS(マルチチャンネルスケーリング)、LFC(デュアルロスフリーカウンティング)、MSS(マルチスペクトラルスケーリング)、リストモード(タイムスタンプ)
- 優れたカウトレート/温度安定性
- 10/100BASE-TX イーサネット、USB、RS-232C、TCP/IP コミュニケーション
- 低・中・高の 3 段階の高圧設定
- オートポールゼロ機能
- コインシデンスタイミング計測のためのデジタルシグナルの調整可能
- デジタルオシロスコープ機能
- スペクトル画面・解析コマンド・エネルギーキャリブレーションを Web ブラウザ上で制御可能

## 【お問合せ】

関谷理化株式会社

〒103-0022

東京都中央区日本橋室町 4-3-5

関谷室町ビル

TEL : 03-3241-4781 (代表)

FAX : 03-3241-4704

E-mail : [customer@sekiyarika.com](mailto:customer@sekiyarika.com)

URL : <http://www.sekiyarika.com>

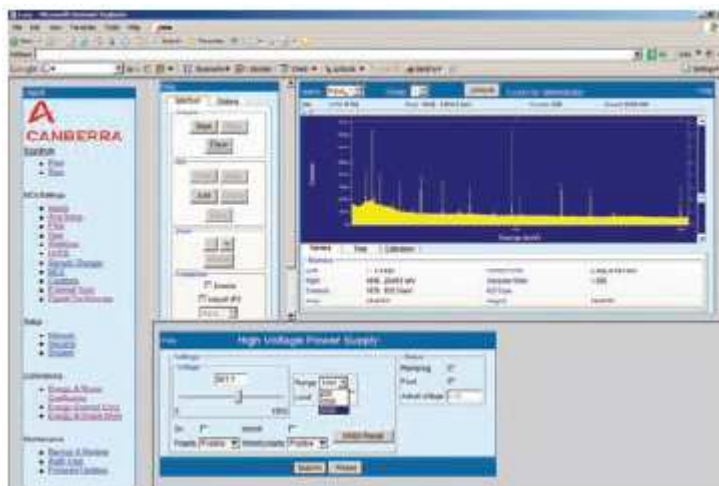


## 【 概要 】

Lynx は最先端な MCA です。DSP(デジタルシグナルプロセッシング)採用の 32K チャンネルのシグナルアナライザーです。選択したコンピュータと組み合わせると、Lynx は最も高品質な解析と分析ができる完全なスペクトロスコープシステムになります。この Lynx は HPGe、NaI (TI)、Si(Li)、PIPS、X-PIPS、CdTe、Cd(Zn)Te 検出器などを 1keV から豊富なエネルギーレンジで使用することが可能です。

Lynx はフロントエンド信号調整、高速デジタル ADC、設定式デジタルフィルター、デジタルオシロスコープ、オートポールゼロ、ベースラインリストアラ、デジタル高速ディスクリミネータ、2 グループの 32K チャンネルメモリ、デジタルスタビライザー、三段階高圧設定など全てを取り込んだコンパクトな設計です。フロントパネルのインジケータには電源状態、解析、通信、高圧、入力レートなどの状況確認ができます。

Lynx は PHA(波高分析)と MCS(マルチチャンネルスケーリング)に加え、MSS(マルチスペクトラルスケーリング)モードや Time-stamped モードという測定モードにも対応しています。



【 Web ブラウザ上でのディスプレイ 】

【 前面パネルのLED表示部 】



## 【 仕様 】

### □入力/出力

ENERGY IN、TRP INH、HV INH、MCS IN、PHA データ収集スタート/ストップ、MCS データ収集スタート/ストップ、MCS チャンネル増加、MCS スウィープ増加、ゲートーコインシデンス/アンチコインシデンス、CHANGER READY、SYNC、GP I/O ポート、MONITOR OUT、ICR (Incoming Count Rate)、CHANGER ADV、SCA、PREAMP POWER、HV+、HV-、+/-200 V、



【 Lynx 背面パネル 】

### □信号処理部

- 1) 方式 デジタルシグナルプロセッシング方式
- 2) 積分非直線性  $\leq \pm 0.025\%$
- 3) 微分非直線性  $\leq \pm 1\%$
- 4) ゲインドリフト  $\leq 35\text{ppm}/^\circ\text{C}$   
ゼロドリフト  $\leq 3\text{ppm}/^\circ\text{C}$
- 5) ゲイン  $\times 1.6 \sim \times 516.3$  (2V フルスケール)  
 $\times 2581.5$  (10V フルスケール)
- 7) フィルター部  
—ライズ、フォールタイム:  $0.2 \sim 51 \mu\text{s}$  (255 種類)  
—フラットトップ:  $0 \sim 3.2 \mu\text{s}$  (33 種類)
- 8) 機能 FASTDISC、BLR、AUTO POLE/ZERO、PUR/LTC、PUR GUARD、スタビライザ、ミックスシグナルオシロスコープ、シンクロスペクトル表示 (PC 上にて)
- 9) 制御 コンピュータ制御

### 10) 前面表示

電源 (ON/OFF)、初期診断エラー、高圧電源 (ON/OFF)、電圧レベル、データ収集状況、インターフェース状況、イベント処理状況

11) 高圧電源  $\pm 200\text{V} \sim \pm 1500\text{V}$ 、 $\pm 1500\text{V} \sim \pm 5000\text{V}$ 、 $\pm 200\text{V}$

12) プリアンプ電源 内蔵 (9ピン メス D コネクタ)  
—RC と RESET の2種類装備

13) デジタルオシロスコープ 内蔵

14) インターフェイス 10/100 BASE-TX Ethernet、USB、RS-232C

15) サイズ:  $8.9 \times 21.3 \times 27.4 \text{ cm}$  (H x W x D)

16) 重量 2.6kg

17) 測定環境 測定温度レンジ:  $0 \sim 50^\circ\text{C}$   
湿度:  $0 \sim 80\%$  まで

### □測定モード

- A) PHA モード
- B) DUAL LOSS FREE COUNTING MODE
- C) MCS モードデジタルオシロスコープ 内蔵
- D) TIME STAMPED LIST MODE
- E) MULTISPECTRUM SCALING (MSS) MODE

※すべてのデバイス設定が電源落ちている間も、電源が回復するまで維持される。スペクトルデータは、電源が落ちてから5年間程維持されます。

**※測定モード(B)、(D)、および(E)は SDK を利用する必要があります。**